

皇女の都 斎宮につどう

第三十三回

三重県明和町

斎 王 まつり

雨天の場合中止

17時～21時

前夜祭

開会式・斎王他出演者披露
特別ゲスト/二十五絃箏奏者 中井智弥・大場浩子

斎王市 15時～21時

斎宮歴史博物館会場

雨天の場合中止

6月7日

禊の儀・斎王群行

13時～15時

上園芝生広場～斎宮歴史博物館

協力参加/皇學館大学雅楽部の皆さん

斎王市 10時～15時

アトラクション



実はそれ、
なんです！

せんぶ
三重

三重県観光キャンペーン
2013.4～2016.3



14	社頭の儀	(雨天中止)
45	斎王群行	13:00 ~
15	上園芝生広場から 斎宮歴史博物館会場まで	協力参加 皇學館大学雅楽部

もくじ

斎王まつり配役	2
斎王まつり童・童女出演者	4
復元建物と「さいくう平安の杜」	6
斎王一覧	8
斎宮跡の発掘調査	9
斎王と結婚の話	11
いつきのみや歴史体験館	13
業平松を詠んだ歌	14
特別ゲスト紹介	15
図書の紹介 / 実行委員会組織体制	16
斎王まつり実行委員会活動	17
群行衣裳	18
フォトコンテスト	20
第32回斎王まつりの思い出	22

6/7(日)	斎王市アトラクション	(雨天中止)
10:00 ~ 15:00	斎宮歴史博物館会場 二十五絃箏奏者 中井智弥・大場浩子 斎王他出演者紹介	13:00 ~

第33回斎王まつりは、「**皇女の都 斎宮につどう**」をサブテーマに企画しました。ここ斎宮には今年7月に斎宮寮の正殿・西脇殿・東脇殿の三棟が実物大の姿で再現され完成します。この建物を中心とした公園の名称も一般公募により「さいくう平安の杜」と名付けられ、また新しい観光名所が誕生いたします。

近鉄電車斎宮駅もりニューアルされて、いつきのみや歴史体験館側（斎宮駅北側）にて乗降車できるようになります。

また秋には、観月会・オーンピングセレモニーなど大々的なイベントなども控えております。

そして、文化庁の「日本遺産」に「祈る皇女斎王のみや」として、斎宮の名称で認定されました。今後も全国区としての「斎王まつり」の名に恥じないよう、実行委員一同つとめてまいります。

サブテーマのように、第33回斎王まつりで斎宮にお集いいただき、秋には「さいくう平安の杜」にお集いいただければ幸いです。

第三十三回 斎王まつりを迎えて

第33回斎王まつりは、「**皇女の都 斎宮につどう**」をサブテーマに企画しました。

ここ斎宮には今年7月に斎宮寮の正殿・西脇殿・東脇殿の三棟が実物大の姿で再現され完成します。この建物を中心とした公園の名称も一般公募により「さいくう平安の杜」と名付けられ、また新しい観光名所が誕生いたします。

近鉄電車斎宮駅もりニューアルされて、いつきのみや歴史体験館側（斎宮駅北側）にて乗降車できるようになります。

また秋には、観月会・オーンピングセレモニーなど

大々的なイベントなども控えております。

そして、文化庁の「日本遺産」に「祈る皇女斎王のみや

」として、斎宮の名称で認定されました。

今後も全国区としての「斎王まつり」の名に恥じないよ

うに、実行委員一同つとめてまいります。

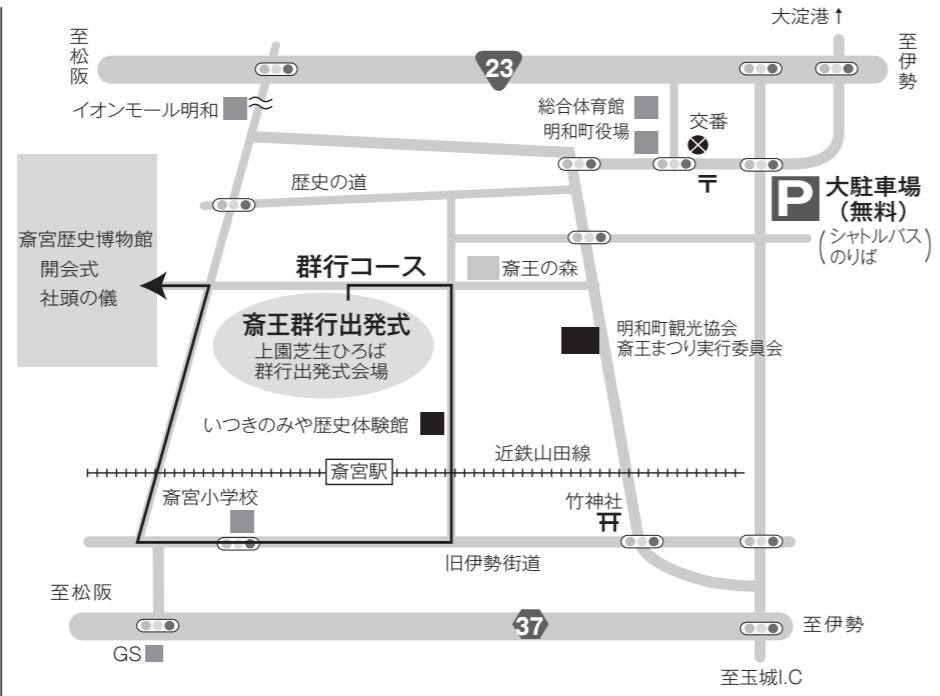
サブテーマのように、第33回斎王まつりで斎宮にお集

いいただき、秋には「さいくう平安の杜」にお集いいた

だき皆さまがより一層、皇女の都 斎宮にお集いいただ

ければ幸いです。

童・童女 出演者 (順不同)



いよいよ完成へ！史跡斎宮跡復元建物建築工事



竹釘で檜皮を留めていきます(西脇殿)



垂木を取り付けるなどの屋根下地作業(西脇殿)



工事見学会でのヤリガンナ体験の様子



葺き上がった檜皮(西脇殿)



復元建物と「さいくう平安の杜」^{もり}

斎宮歴史博物館では、本年七月の完成をめざし、平安時代初頭（九世紀前葉）の二棟の建物（正殿・西脇殿・東脇殿）を対象に復元建築工事を進めています。場所は、斎宮寮の儀礼饗應のための場であつたとみられる「柳原区画」です。柳原区画は、斎王の居所である「内院」があつたと推定される「牛葉東区画」（現在の竹神社所在地）とは古代の道路を挟んだ北に隣接し、「内院」とともに平安時代を通して斎宮の中枢部を担つたとみられる区画です。ちなみに日本最古の「いろは歌」墨書き土器も、柳原区画のすぐ前（区画としては牛葉東区画）から出土しています。

地下遺構の保存と建設工事

さて、いくら復元工事といえども、地下に残る斎宮の重要な遺構を傷つけることはできません。そこで、今回の工事では、発掘調査で確認した地下遺構を損なわないよう遺構面を地下に保存したうえで、ベタ基礎と呼ばれる工法を採用し、その基礎の上に建物を建てています。ただし、柱そのものは、発掘調査で確認した

復元建物建築工事の様子

復元建物建築工事は、ベタ基礎の上に鉄柱を据えた後、平成二六年一〇月末から木工事を開始しました。木工事の大まかな流れを、最初に工事に取り掛かった西脇殿の工事から紹介していきましょう。

まず、据えた鉄柱を含む鉄製の構造部分（鉄柱をつなぐ梁や桁の材など）に、内側をくり抜いた木材を取り付けます。次いで、屋根を覆う檜皮を葺くための屋根下地造りに進み、一月半ばには屋根下地が完成しました。ここまでが大工さんによる工事です。

屋根下地が終わると、檜皮葺きがはじまります。

檜皮葺きは、ヒノキの樹皮を用いて屋根を葺く日本独自の屋根工法です。この作業には、専門の檜皮葺き職人さんがあたり、一枚一枚、薄い檜皮を手作業で重ねながら、竹釘で留めていきます。繊細で根気のいる作業ですが、仕上がった檜皮屋根は美しく、平安時代建物の優美さを示すものとなりました。

檜皮葺が終われば、屋根の最上部となる棟の工事や、壁や床の取付といった内装工事が行われます。これは、再び大工さんによる作業です。このように、復元建物の建築では、熟練した大工さんと檜皮葺き職人さんが連携しながら、工事が進められました。

完成に向けて

復元建物建築をはじめとする史跡

斎宮跡東部整備事業は、今年度で完了の予定です。今後は、史跡公園「さいくう平安の杜」として、より多くの方々に斎宮という素晴らしい史跡を実感し、また親しんで頂けるよう取り組んでいきたいと考えています。

（斎宮歴史博物館 調査研究課）

柱の位置の直上に立てており、平安時代と同じ場所に、同じ広さの建物が建つことになります。また、復元建物は、当時の様式・工法に可能な限り忠実に復元しています。これに支える主な柱の中には鉄柱を仕込み、現代的な建築基準にも合うよう建物強度を補強しています。これいろいろな利活用をすることが可能となります。

斎宮の復元建物により親しんで頂こ

斎王一覽

斎王の伊勢滞在期間は短くて二年、長い人では三十二年という例があり、年齢は五歳から十五歳の少女に集中しており、最高で群行時三十二歳という斎王もいます。

代	歴代帝王
在任期間(年)	天皇
西	天皇



平成26年度発掘調査位置とこれまでの調査

斎宮跡、四〇年の発掘成果

斎宮跡の発掘調査は昭和四五（一九七〇）年に始まり、すでに四〇年以上が過ぎました。これまでの調査で史跡斎宮跡はどこまで解明されてきたのでしょうか。そして、今も続く発掘調査は、斎宮の何を明らかにしようとしているのでしょうか。

現在の竹神社の周辺では、斎王の宮殿である「内院」が確認されました。長大な屏で囲まれた空間の中に、大きな建物が確認されたのです。そして、この場所からは、緑色の美しい釉薬がかけられた高級な焼き物の「緑釉陶器」が多数出土

自動車道路の四車線分に相当する幅の広さです。さらに、この道路によつて囲まれた一つの区画は、一辺の長さが四〇〇尺（一一八・四メートル）あります（※注）。これは当時の都である長岡京と同じ規格です。



発見された2棟の建物(写真奥の森は竹神社)



平成26年度子ども体験発掘

斎王と結婚の話

榎村 寛之

斎王は都から伊勢にやつてくる皇族のお姫様です。プリンセスなわけですね。そしてプリンセスの中でも、天皇の代わりに伊勢神宮を挙式するという重要な任務につくために、世間から隔離され、斎宮で暮らす、という人生を送ります。そして色々な理由で天皇が代わったり、身内に不幸があつたりすると斎王も交替します。十年前後で替わることが多かつたようです。

そして選ばれた年齢の傾向を見ると、十歳までの人もかなり多い、つまり二十歳前後で都に帰る斎王も割合に多かつたわけです。

「ああやっぱり神様にお仕えする方は結婚できないのですね」

答えはNOなのです。

「都に帰られた斎王さまは、結婚されたのですか?」

「いいえ、内親王などの皇族女性は、そもそもほとんど結婚できないのです」

いる人々の日常生活を支える品々や、役人の給料となる物品を保管していたものだと考えられており、「寮庫」と呼んでいます。

※四五〇尺、四一〇尺の区画もあります。

内院、寮庭、寮庫。方格地割の内部は次第に明らかになってきました。では、寮庭の西側、現在、いつき茶屋のある区画はどういう場所だったのでしょうか。

この場所の小字名を「御館(みたち)」と言います。その名前から、斎宮長官らの館(やかた)があつた場所ではないかと早くから注目されてきた場所です。

御館区画ではこれまで昭和四九年度第

八一九次調査を皮切りに四〇年間にわたり発掘調査が続けられ、少しずつ様子が明らかとなっていました。平成二六年度の発掘調査は、「御館区画」南西部の状況を解明することを目的に実施しました。調査した面積は約四〇五平方メートルです。

調査の結果、掘立柱建物、土坑、溝など

が見つかりました。その中で注目され

るのは南北に並ぶ二棟の掘立柱建物です。建物はいずれも東西方向に長い建物で、横幅は一二メートル(約四〇尺)と共通します。北側の建物は、南側に底がつき縦が七・六メートル(約一七・五尺)。

南側の建物は底がなく、縦が四・八メートル(約一六尺)でした。さらに、南側の建物は、御館区画の南側を走る道路から一四・八メートル(約五〇尺)の位置に建てられていたことが分かったのです。この二つの建物は、柱穴の形や出土した土器から平安時代初め頃のものと考えられます。このころ、まず碁盤の目状の道路が整備され、それを基準に建物の配置が決められていたものと考えられます。

このようないくつかの配置は、その後時代が下るにつれてみられなくなります。今回の調査地では、平安時代の後期になると、道路に近い部分に集中して柱穴が見られました。このことは、御館区画の内部全体を余すところなく利用しようとする本来の理念が崩れ、道路に近い便利な部分だけを利用するように変化したこと

で進めている復元建物の建設工事と合わせて、これからも斎宮歴史博物館の行う調査も新たなピースの発見であったといえます。

斎宮歴史博物館の行う発掘調査は、いつもご見学いただけるほか、現地での説明会も開催しています。また、発掘調査の成果については博物館で展示を行うほか、小・中学生の体験発掘や中学生職業体験の受入れも行っています。「寮庭」で進めている復元建物の建設工事と合わせて、これからも斎宮歴史博物館の行う調査も新たなピースの発見であったといえます。

斎宮歴史博物館の行う発掘調査は、いつもご見学いただけるほか、現地での説明会も開催しています。また、発掘調査の成果については博物館で展示を行うほか、小・中学生の体験発掘や中学生職業体験の受入れも行っています。「寮庭」

で進めている復元建物の建設工事と合わせて、これからも斎宮歴史博物館の行う調査も新たなるこの時期、斎宮の中心部からも建物は消えていくようです。

(斎宮歴史博物館 調査研究課)



皇は、不要な子孫に姓を与えて貴族に降ろすことを始めました。良峯氏などがそうですが、孫世代に始まる桓武「平」氏が有名です。これをさらに積極的に行つたのが桓武の子の嵯峨天皇で、その子女の多くに「源」姓を与えました。その子たちは一文字の名前を受けられ、その中からは大臣に上った源融、源信などが出ていました。

こうした動きを「臣籍降下」といって奈良時代には、王と内親王の結婚といふのは珍しくありませんでした。たとえば天武天皇の孫(高市皇子の子)の長屋王の奥さんは文武天皇の妹(岡宮御宇天皇と謳された草壁皇子の娘)の吉備内親王です。聖武天皇の娘の不破内親王も天武天皇の孫の塩焼王(新田部親王の子、のちに水上塩焼)と結婚しており、その姉で元斎王の井上内親王が天智天皇の孫(施基皇子の子)の白壁王と結婚し、夫が光仁天皇となつたので元斎王で唯一、皇后になつたのはよく知られています。

ところが平安時代になると事情が変わります。桓武天皇以来、宮内に後宮があります。で、この代数は原則として男系で継承されるので、たとえば五世王が内親王をお嫁さんにして生まれた子は六世なので臣下となるのです。これは少し具合が悪いので禁止、というわけですね。この法律は男性基準で書かれていますので、

増えると養育費がかさむ、そこで桓武天

皇は、不要な子孫に姓を与えて貴族に降ろすことを始めました。良峯氏などがそうですが、孫世代に始まる桓武「平」氏が有名です。これをさらに積極的に行つたのが桓武の子の嵯峨天皇で、その子女の多くに「源」姓を与えました。その子たちは一文字の名前を受けられ、その中からは大臣に上った源融、源信などが出ていました。

こうした動きを「臣籍降下」といって奈良時代には、王と内親王の結婚といふのは珍しくありませんでした。たとえば天武天皇の孫(高市皇子の子)の長屋王の奥さんは文武天皇の妹(岡宮御宇天皇と謳された草壁皇子の娘)の吉備内親王です。聖武天皇の娘の不破内親王も天

武天皇の孫の塩焼王(新田部親王の子、のちに水上塩焼)と結婚しており、その姉で元斎王の井上内親王が天智天皇の孫(施基皇子の子)の白壁王と結婚し、夫が光仁天皇となつたので元斎王で唯一、皇后になつたのはよく知られています。

さて、このようになると何が起こるか、二世、三世の皇族は何かと不自由な皇族を嫌い、ほとんどが源氏になつていくのです。そして源氏は原則として貴族です。つまり内親王の結婚相手は、平安時代に数少なくなる男性の親王は、多く摂関家や源氏の大臣級貴族ら正妻を迎えるのです。

内親王の結婚は極めて希なことになります。内親王の結婚は極めて希なことになりました。

さて、斎王の場合はどうか、前述の井

上内親王の娘、酒人内親王は異母兄の相
武天皇と結婚し、二人の間に生まれた朝
原内親王は平城天皇と結婚しました、と
ころがその後、斎王の結婚は、バタツと
なくなってしまいます。普通の内親王で
も結婚できないのに、ましてや元斎王は、
という感じなのですね。

しかしそれでも、元斎王でしかも内親王なのに、結婚にこぎ着けた人もいるのです。それは醍醐天皇の皇女雅子内親王（九一〇～九五四）。十世紀前半、朱雀天皇の時代に斎王を務めていました。伊勢にいたのは二十代の四年弱です。実はこの斎王、ト定以前に恋人がいたのです。その名は藤原敦忠。彼は菅

ではなく、藤原師輔、時平の弟の藤原忠平の子でした。

めた当子内親王です。彼女が恋に落ちたのは斎宮から帰京した後、長和五年（一〇一六）のことなのですが、ちょっと相手が悪かった。



いつきのみや歴史体験館を
めえめえです。ご紹介します!!

昨年はひきつづきめでたかいひきのみや歴史体験館を紹介します！

「羊形硯」をモチーフにしています。

てしまふとその名前の通り 羊の形をしたつても
めずらしいすゞり：で終わつてしまひますが、とつ
ても歴史あるすゞりです。

全国では10例ほど出土されています。昭和54年に国史跡に指定されているここ斎宮跡でも、この年に「羊形見」の角付大甕などが出土しました。

「緑釉」がけされた「羊形硯」が角の一部が見つかっています。「緑釉」とは緑の釉薬がかけられており、8世紀中頃に平城京周辺で造られた可能性が考えら

うから：考えただけでも歴史ある大変めずらしいすずりだということがわかるメエ。とつてもお勉強になりました。

なりました。
めえめえはそんな歴史ある斎宮跡のいつきのみや
歴史体験館のキヤラクターとして活動しています。

のことも一緒に世界に知つてもらうためにがんばる
メエ!!お呼ばれする時は、トレードマークの赤い筆
と季節によつて、お帽子の時や寒い時は手編みのマ
フラーなどめえめえも女の子だからおしゃれを楽し



れており、名前の由来になつてゐるそうです。
龍笛を基礎から学べて、また9月には観月会にて
披露するので、目的を持つてできます。講師には元
伊勢神宮雅楽長を開講当初からお迎えしており、女
性は希望すれば講座終了後に舞の稽古をすることも
できます。毎年1月には募集を受け付けており、2
月から11月までの間に全18回貴重な体験をしてみま
せんか。

紹介するモノ。
いつきのみや歴史体験館といえば、「十二単」
〔直衣〕という平安時代の装束をペアで本格的に体
験できる施設だ。十二単は着こなし、

…着替えるとなると時間も手間もかかるて面倒なんて思いがちですが、ぜひ想像だけでなく気軽に予約さえ前日までに入れておけば、持ち物はカメラと体

1日2回午前10時30分からと午後2時から体験ができる、スタッフが丁寧に着付けをしてくれる。めえも女の子の子だから着たいなー。お子様用の装束も

撮つてくれるのでカメラは絶対持つてきてメエ。
さて今回はめえめえについておはなししました

に口マンを感じに来てくださいメエ。



いつきのみや歴史体験館

三重県多気郡明和町斎宮3046番地2

TEL.0596-52-3890

ホームページ <http://www.itukinomiya.jp/>

【入館料】無料 【開館時間】9:30~17:00

【休館日】月曜日(祝日の場合を除く)、祝日の翌日、年末年始

【交通案内】近鉄斎宮駅史跡公園口下車すぐ 伊勢自動車道玉城ICより約20分



業平松を詠んだ歌

大淀の 松はつらくも あらなくに うらみてのみも 帰る波かな

大淀の うらたつ浪の かへらずば かはらぬ松の 色をみましや

大淀の 浜に生ふてふ みるからに 心はなぎぬ かたらわねども

大淀の 霞吹きそう 松風に うらみてのみや かえるかりがね

さなくとも 秋の面影 大淀の 松はつらしと うらかぜぞ吹く

大淀の 御祓幾世に なりぬらん 神さびわたる 浦の姫松

かずかずに 思う心は 大淀の 松をうらみる 浪の音かな

大淀の 浦路のどけき 春の日に かすみぞ残る 松のむらだち

霞みゆく 松さへつらし 大淀の 浦立つ浪の かへるかりがね

つらからぬ 松も恋ふらく 大淀の 霞ばかりに かかる浦波

しるらめや 君がつらきは 大淀の うらみてかえる 波をかぞへて

大淀や つなき松の 風だにも 波間しづけく 月をみるかな

以上のはか関白左大臣、行意、有家など高官・高僧の歌が、「勢陽雜記」、

『伊勢歌枕考』などに残されている。

『新古今集』

『斎宮女御集』徴子女王

『夫木集』俊成女

『御裳灌集』定家

『拾遺集』源兼隆

『千五百番』後鳥羽院

『夫木集』順徳院

『拾遺愚草』定家

同右 家隆

北畠国永



特別ゲストのご紹介



中井 智弥 二十五絃箏 奏者・作曲家

●プロフィール

6歳の時に箏と出会い。東京芸術大学音楽学部邦楽科を卒業。同大学にて常英賞受賞。津市文化奨励賞受賞。伝統的な箏や地歌三絃の演奏も行いつつ、日本伝統音楽の敷居の高いイメージを払拭するため、音域が広い二十五絃箏を使いジャンルを超えた活動を行っている。神話・日本の古い文学作品・お能等を題材に新しい感覚で曲を書き、様々なジャンルとコラボレーションを行っている。NHK教育テレビにて「おかあさんといっしょ」「花鳥風月堂」等に出演。世界遺産コンサート下鴨神社に出演。

海外の演奏活動では、2007年国際交流基金海外公演主催事業「メキシコ移住110周年事業、日チリ修好110周年事業」でメキシコ・チリ・ドミニカ共和国を巡演し賞賛をうける。また外務省より文化使節としてタイ・ベトナムに派遣され、日メコン交流年オープニングイベントを飾る。帰国後、総理官邸にてベトナム書記長との晩餐会で凱旋公演を行い絶賛を受ける。フィンランドのカンテレ奏者エヴァ・アルクラとは日本とフィンランドを中心に伝統楽器で交流を深め一つの形を確立した。2007年国際交流基金協力のもとフィンランドのシベリウスアカデミー・フィンランドカンテレ協会招聘による、ワークショップ・コンサートを行う。またフィンランドの各地で行われる音楽・芸術フェスティバル、日本フィンランド協会主催「修好90周年イベント」に招聘。

2011年アイスランドでの「NMD2011」にもオープニングコンサートを堂々飾る。2013年エストニア日本大使館主催でエストニア三都市を巡演。2014年国際交流基金ニューデリー日本文化センター主催でニューデリー、ラクナウ、グワハティを巡演。JAPAN TRADITIONAL ARTS ACADEMY代表。

大場 浩子 箏・二十五絃箏 奏者

●プロフィール

明和町出身。箏・三味線を故三宅雅仁・鈴木雅楽卓、二十五絃箏を中井智弥各氏に師事。

2007年、2008年いつきのみや梅まつり、2009年いつきのみや歴史体験館記念式典にて箏演奏。

2012年東儀秀樹世界遺産コンサート(京都下鴨神社)中井智弥作曲「光明」で参加。2013年男女共同参画松阪フォーラムにて、箏演奏・ワークショップ。

2013年エストニア日本大使館主催エストニア三都市公演に中井智弥氏と出演。正派いつき会主宰。公益財団法人正派邦楽会師範。三重県三曲協会会員。



図書紹介

私達の「斎宮」について
より多くのことを知つていただくために
一地元で読める斎宮関係図書のご紹介

凡例
 ○ふるさと会館（図書館）で貸出可
 ☆いつきのみや歴史体験館・博物館ミュージアムショップで販売
 ◇斎宮歴史博物館図書ホールで閲覧可

○ふるさと会館（図書館）で閲覧可

「斎宮」の入門書として

郷土の歴史として

「斎宮」を知りたい方に

「斎宮」で行の旅した「群行」の道を歩いてみたい方に

奥井宏忠著『別れの御櫛—斎の宮と斎宮寮』光書房○◇

明和町教育委員会編『郷土史に見る斎王』○◇

三重の文化財と自然を守る会編『伊勢斎王宮の歴史と保存』○◇

内田康夫著『斎王のみち—伊勢斎宮の文化史—』中日新聞本社○◇

池田美由喜著『鷺草—大津皇子とその姉と—』新風舎○◇

村井康彦監修『斎王の道』向陽書房○☆◇

田畠美穂著『斎王の葬列』角川書店○◇

郡俊子著『倭姫宮の御巡行』勢陽文芸○◇

『伊勢斎王の恋』近代文芸社○◇

『哀しみの伊勢大来斎王』近代文芸社○◇

内田康夫著『斎王の葬列』角川書店○◇

山中智恵子著『斎宮女御徽子女王—歌と生涯—』大和書房○◇

池田美由喜著『鷺草—大津皇子とその姉と—』新風舎○◇

郡俊子著『倭姫宮の御巡行』勢陽文芸○◇

『続斎宮志』砂子屋書房○◇

『斎宮劄記』砂子屋書房○◇

所京子著『斎王和歌文学の史的研究』国書刊行会○◇

『斎王の歴史と文学』国書刊行会○◇

榎村寛之著『律令天皇制祭の研究』瑞書房○◇

中川ただもと著『斎宮和歌の解釈と鑑賞』紫明の会○◇

服藤早苗著『歴史のなかの皇女たち』小学館☆

準備作業



第32回（26年度）斎王まつり実行委員会活動報告

（敬称略）

- 1月 16日(木) 会計監査
- 25日(土) 役員会
- 31日(金) 総会・総務会議
- 2月 10日(日) 出演者募集締切
- 13日(木) 役員会(出演者書類選考)
- 18日(火) 梅まつり会議
- 23日(日) 子供説明会(子ども斎王抽選 中央公民館)
- 3月 2日(日) 「梅まつり」協賛(斎宮歴史博物館)第29代斎王古川・あこめ役4名出演
- 6日(木) 役員会(選考会について)
- 9日(日) 斎王役選考会(いつきのみや歴史体験館)
- 14日(木) 梅まつりフォトコン選考会
- 20日(木) 本部会議
- 27日(木) 役員会
- 4月 10日(木) 第1回リーフレット校正会議
- 14日(月) 第2回リーフレット校正会議
- 16日(水) 第1回斎王市会議
- 17日(木) 夕刊三重取材(第30代斎王・伊藤)
- 25日(金) 全体会議
- 30日(水) パンフレット校正会議
- 5月 2日(金) リーフレット回覧(明和町全戸配布)
- 7日(水) 衣裳直し作業
- 11日(日) 出演者説明会・リハーサル・のぼり準備・看板出し・ステージ製作準備
- 13日(火) 知事表敬訪問 第30代斎王 伊藤・女別当 前田 参加
- 15日(木) アトラクション会議
- 18日(日) 竹切り・ステージ作り・大道具作り
- 午後 子ども出演者説明会・ステージ組み立て
- 19日(月) 第2回斎王市会議
- 三重テレビ「旬感三重」出演(土井代表・第30代斎王 伊藤)
- 25日(日) のぼり立て・ステージ組み立て
- KBS京都ラジオ出演(第30代斎王・伊藤)
- 26日(月) 中勢警備打ち合わせ
- 27日(火) 博物館打ち合わせ
- 30日(金) 最終全体会議
- 6月 1日(日) ステージ組み・着付け教室
- 3日(火) 衣裳準備
- 4日(水) 斎王市テント立て
- 6日(金) 最終ステージ組み・のぼり立て直し(荒天の為)
- F.M三重ラジオ出演(副代表 森)

第33回（平成27年度）斎王まつり実行委員会組織体制

本部	代表	土井 祐治	名誉会長（町長）	中井幸充	顧問	木戸口眞澄	西場信行	浜井初男	濱口 尚紀	辻井成人		
	副代表	笛川 浩										
会計監事	副代表	岩佐 康則			長井雅美	辻 文昭	東谷泰明	山川充造				
	副代表	森 茉津子										
会場班	事務局	山中 いずみ			相談役	辻 孝雄	森島啓之	東谷泰明	橋本久雄	中川裕正		
	着付班	朝倉 惟夫	久世 晃									
まつり実施班	総務・財務班	森下 清	○田端正俊	竹内克巳	大西俊次郎	辻 孝雄	小林順一	奥山幸洋	橋口 文隆	8		
	着付け班	着付会場内の管理	○東谷泰介	○北川和樹								
広報班	着付け準備と後片付け	○新田一子	○清水清子	○田中政子	○西宮幸代	衣斐喜代美	竹内 喜子	新谷千恵子	13			
	前夜祭の実施	○関岡武夫	○早川潤一	○中西修一								
本部	禊の儀の実施	石田藤生	伊串金市	小林邦久	佐々木久夫	西岡信行	秋山修一	下村幸一	江里	35		
	出発式の実施	長谷川新	辻 满寿美	中島 宏								
会場班	群行の実施	伊藤佳史	辻 正	乾 健郎	小林正明	岩本温行	乾 秀治	中倉 優	川北 真司	2		
	社頭の儀の実施	野上但治	鈴木健司	八木光彦								
まつり実施班	アトラクションの実施	中井圭吾	森川 高広	西岡 潤	永井 健太	石田 真也						

群行衣裳



れ、貞觀・延喜式制に継承されているが、その後次第に増員され、長元八年（一二〇三五）の『看督長見不注進状』（『平遺』五一九～三七）では左右合わせて十五人を数える。獄直や犯罪の搜査・追捕等を任務とする。尉を中心として編制される警察部隊の一員として出動することがあるが、単独ないし少数の従者を率い、事に従うことが多い。しばしば行き過ぎた捜査や追捕を行い、京民から頼りにされる一方で、恐れられもした。その武力は悪鬼魔神を懾伏するという信仰を生み、「徒然草」二〇三には主上御惱の時、五条の天神に看督長の鞍をかけることが見え、「神道名目類聚抄」には守門の神を看督長と称したとある。

隨身【ずいしん】
随身とは、貴族が外出する際に警護にあたつた近衛府の官人を指します。それには高い教養と優美な美貌が求められたと云います。



長奉送使【ちょうぶそうし】

監送使ともいう。斎王一行を伊勢まで送り届ける群行の最高責任者。沿道における警察権が与えられており、任を終えると直ちに帰京しました。



檢非違使【けびいし】

平安時代から室町時代にかけて京中の警察を担当した職。元来、平安京の治安維持は京職や衛府の任であったが、特定の官人に京中の警察を担当させることがあり、それが檢非違使となり、やがて衛府や京職、彈正台などの権限を吸収し、王朝國家有数の警察機関となつたのである。



1. 冠
2. 綾
3. 太刀



駕與丁【かよちょう】



斎王の乗る輿（葱華輦）を担ぐ人です。

斎王【さいおう】
天皇の即位ごとに、未婚の内親王（天皇の娘）あるいは女王（天皇の兄弟の娘など）の中から占いで選ばれ、天皇の譲位や崩御、あるいは肉親の不幸などにより解任され、都に帰る決まりになっていました。伊勢神宮の祭りには、六月・十二月の月次祭と九月の神嘗祭に関わるのみで、ふだんは斎宮の中で都と同様の生活を送っていたものと考えられています。

古代から中世にかけての文学作品に登場する斎王も多く、『源氏物語』『伊勢物語』など、多くの文献に残されています。

十一單【じゅうにん】



には袴と裳をつけます。袴は緋の長袴（若年未婚は濃色）、裳は背にあてて結び、後に長く垂らして引きます。

女別当【によべとう】



内侍または命婦【ないしまたはみょうぶ】

斎宮で働く女官たちの最高責任者として、乳母や女孺の上にいる立場にありました。

女孺【めのわらわ】



都では、地方の郡司の娘から選ばれ、天皇の御前などに奉仕していました。しかし、斎宮に采女がいたかどうかについてはよくわかつていません。

采女【うねめ】



都の官人が、家族で

都では、地方の郡司の娘から選ばれ、天皇の御前などに奉仕していました。しかし、斎宮に采女がいたかどうかについてはよくわかつていません。

童・童女【わらわ・わらわめ】

都では、地方の郡司の娘から選ばれ、天皇の御前などに奉仕していました。しかし、斎宮に赴任したといふことも考えられますから、その子供達が斎宮に住んでいたという可能性があります。しかし、群行の一員として加わっていたということはなかつたよう



天皇の即位ごとに、未婚の内親王（天皇の娘）あるいは女王（天皇の兄弟の娘など）の中から占いで選ばれ、天皇の譲位や崩御、あるいは肉親の不幸などにより解任され、都に帰る決まりになっていました。伊勢神宮の祭りには、六月・十二月の月次祭と九月の神嘗祭に関わるのみで、ふだんは斎宮の中で都と同様の生活を送っていたものと考えられています。

古代から中世にかけての文学作品に登場する斎王も多く、『源氏物語』『伊勢物語』など、多くの文献に残されています。

十二單【じゅうにん】



1. 垂鬟【たれかみ】
2. 唐衣【からぎぬ】
3. 表着【おひき】
4. 打衣【うちぎぬ】
5. 衣【きぬ】(枚数を重ねている)
6. 単【ひとえ】
7. 長袴【ながばかま】
8. 裳【もも】(全体)
9. 裳の小腰【ももこし】
10. 裳の引腰【ひきこし】
11. 檀扇【たんせん】(朧扇)
12. 帖紙【たじし】
13. 日陰の糸【ひかげのいと】(玉かずら)
※斎王が付けていたかどうかは定かではありません。

※斎王が付けていたかどうかは定かではありません。

乳母【めのと】

母親に代わって養育を受け持つ女性で、斎宮には、斎王個人の「家」に仕える存在として、二名ないし三名が務めるようになつていました。

都の官人が、家族で

都では、地方の郡司の娘から選ばれ、天皇の御前などに奉仕していました。しかし、斎宮に采女がいたかどうかについてはよくわかつていません。

斎王フォトコンテスト

斎王賞



「受け継ぐ檜扇」 松阪市 後藤ミユキ

明和町教育長賞



「祭りの少女」 志摩市 山本芳喜



「受け継ぐ檜扇」 松阪市 後藤ミユキ

斎宮歴史博物館長賞



「清心」 明和町 長谷川 清美

特別賞



「禊の儀」 四日市市 伊藤 博光



「初夏の風」 志摩市 大山 浩樹

特別賞



「斎王さんになれるわよ」 津市 瀧上 昭憲

特別賞



「祈りの影」 松阪市 萩原 伸

特別賞



「きらびやかな華」 伊勢市 山村 晋平

特別賞



「しとやかに」 鈴鹿市 榎本 清司

フォトコンテスト

◆サイズ

・カラーまたは白黒作品でサイズは四つ切のみ。

◆応募締め切り

・平成27年7月17日(金)当日消印有効

(郵送中の事故破損については責任を負いかねます。)

◆応募方法

・応募票を作品裏面に貼付、郵送または斎王まつり事務所受付。

◆応募上の注意事項

・応募作品には応募者本人が撮影したもので1人2点以内(未発表の作品)に限ります。

・応募票の各項目に楷書で記入し、題名・お名前にはかならずフリガナをつけてください。(複数応募の場合はコピーしてください。)

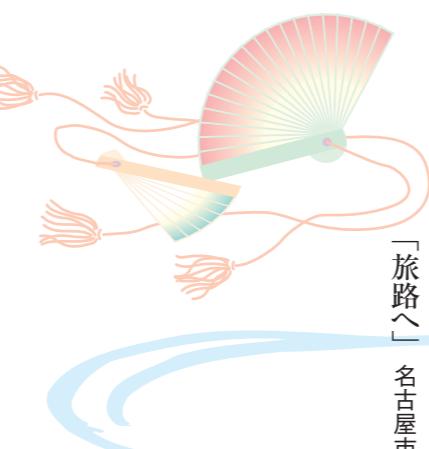
・入賞、入選作品についてはあらためてデーターをお借りすることがあります。

・パンフレットやポスター、ホームページなどへの使用権は主催者に帰属します。

・応募作品のご返却はいたしません。

◆賞

- ◆応募・問い合わせ先
 - ◆発表
 - ◆選考方法
 - ◆発表
 - ◆賞
- 入賞は、10賞(斎王賞ほか)、入選は10作品
- 作品は斎王まつり実行委員会で選考いたします。
- HPにて発表いたします。
- 入賞者には直接通知いたします。(8月上旬頃)
- 〒511-50321
三重県多気郡明和町斎宮281-1番地
斎王まつり実行委員会事務局



「旅路へ」 名古屋市 水谷 勝

明和町議会議長賞





第30代斎王役
伊藤 晓美

斎王役を務めて

前夜祭の間際まで降っていた雨は、祝福の雨だったのでしょうか。群行当日に見た、葱華輦越しての晴天の景色はどこか懐かしさを漂わせた旅のはじまりでした。

「これが、かつての斎王たちの見てきた景色」歴代の斎王たちは、何を想い、何を感じたのか、斎王役に選ばれたことで、その世界に少し触れられたような気がしました。

この十二単の重みは、定めを受け入れ、使命を全うしてきた斎王たちの意志、そして、おまつりに携わる全ての人々の想いと歴史の重なりでもあるのでしょうか。一年間、真心をもって務めようとしていた自分自身が、皆様の真心に支えられているのだと気づかされました。こちらに向けられたあたたかい眼差し、空の色、あのひとときを忘ることはきつとありません。

そしてこれから先も、新たな歴史が刻まれていくことでしょう。

今後のおまつりの更なる発展と、皆様の幸せを心より祈っています。

感謝と願いを込めて。

子ども斎王を務めて

家族にすすめてもらい、応募してもらつたことが、こども斎王をさせていただいたきっかけです。

決まってからは、斎王さんのことをたくさん知りたくて、いつきの宮会館に何度も調べに行きました。

前夜祭で、開会宣言をするのはとても緊張しました。

斎王まつりでは、十二単衣が少し重く、歩くのは大変でした。しかし十二単衣が着れて、とても嬉しかったです。

群行行列では、初めて乗るそがれんに揺られてドキドキしていました。たくさんのお客さんが手を振つてくれたりして、恥かしかつたのと、嬉しい気持ちとで、いっぱいでした。

今年三十三回を迎える斎王まつりは、サブタイトルに「**皇女の都 斎宮につどう**」を掲げています。

このまつりは、町内の皆さん、町内外の協賛企業さまのご支援ご協力で成り立つており、深く感謝いたします。子供から大人まで楽しめる「まつり」の成功をめざして、実行委員も頑張ります。

又、待望の平安時代の実物大復元建物「正殿・西脇殿・東脇殿」の三棟は七月末の完成を予定しています。先日、この建物を中心とした公園の名称が

「さいくう平安の杜(もり)」に決まり、これから敷地内に色々な建物や設備が出来、だれもが集い、学び、憩いの場として利用していくことができ、より便利になります。

平安時代の斎王

さまも見られたであろうノハナショウブが咲き誇る「皇女の都 斎宮」につどい、雅なひとときをお過ごし下さい。



— 三重県観光キャンペーン —
2013.4 ~ 2016.3

皇女の都 斎宮につどう

斎王まつり実行委員会代表 土井祐治



子ども斎王
岡田 心海



葱華輦復元模型(斎宮歴史博物館蔵)

主催／斎王まつり実行委員会

後援◎三重県、明和町、明和町教育委員会、明和町観光協会、斎宮歴史博物館、(公財)国史跡斎宮跡保存協会、(一財)民族衣裳文化普及協会、中部運輸局三重運輸支局
近畿日本鉄道株式会社、NHK津放送局、三重テレビ放送(株)、三重エフエム放送(株)、松阪ケーブルテレビ・ステーション(株)

問い合わせ◎斎王まつり実行委員会事務局 TEL.0596-52-0054 FAX.0596-52-7274